

科 目 名				くらしと経済			開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者				権 藤 幸 憲				
開 講 年 次		1 (心・理) 1・2 (リ・ハ) 1・2・4 (子ども)	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選択必修
授業の概要 及びねらい		経済は我々の生活に密接に関係しています。授業では経済のしくみを分かりやすく解説し、 経済の変化が我々の生活にどのような影響を与えるかを考察します。						
授 業 の 到 達 目 標		授業の到達目標は以下の2点です。経済の基礎を学ぶことにより①経済関係のニュースや 新聞記事などを理解し、世の中の動きをより正確に把握できるようになることです。さらに、 ②経済の基礎的な知識を基にして、現代経済を洞察する目を養い、自分自身の生活の在り方 や社会への関わり方を考える手がかりを得ることです。						
学 習 方 法		毎回資料を配布して、それに基づいて授業を行う。小テストを行う。						
テキスト及 び参考書等		資料を配布、参考書は授業の中で紹介						
評 価 基 準 ・ 方 法		到 達 目 標					評価割合%	
		知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験		◎	◎				70	
小テスト等		○	○				30	
宿題・授業外レポート								
授業態度								
受講者の発表								
授業への参加度								
その他								
合 計							100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)								
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）								
第 1 週	経済学とは何か／経済を構成する3つの主体							
第 2 週	景気の判断材料／知っておきたい経済統計							
第 3 週	好景気と不景気／くらしへの影響							
第 4 週	景気変動と物価							
第 5 週	物価が変動する仕組み／価格形式のメカニズム							
第 6 週	日本銀行の役割と貨幣の流通の仕組み							
第 7 週	日本の財政／税金の種類							
第 8 週	国債の種類／個人向け国債							
第 9 週	株式市場のしくみ							
第 10 週	外国為替市場／円高・円安とは？							
第 11 週	日本経済の歴史／バブル経済～現在に至るまで							
第 12 週	日本経済の展望							
第 13 週	少子高齢化と日本経済							
第 14 週	雇用問題							
第 15 週	日本の貿易構造／国際収支							
第 16 週	試験							
備 考								